

関電金品受領問題 県に再調査請求を 反原発団体、県議会に

関西電力役員に多額の金品を贈っていた高浜町元助役の森山栄治氏（故人）から、歴代の県幹部ら百九人が金品を受け取っていた問題で、反原発団体「原発問題住民運動県連絡会」は二十六日、県議会に対し、県に再調査を求めらるべきだとする請願を提出した。

団体事務局長の林広員と

んが県議会議事堂を訪れ、議長に宛てた文書を小林里代議長に提出した。紹介議員として佐藤正雄県議（共産党）も同席した。林さんは「県の内部調査委員は県の顧問弁護士だけで構成されていて、身内による調査だった。住民の思いと乖離しており、外部の有



元助役からの金品受領について、県に再調査を求める請願を提出する林広員さん
㊦県議会議事堂で

識者でつくる第三者委員会が調査を行うべきだ」と話した。

県警に対しても、警察歴代幹部が元助役から金品を受領していなかったか徹底的に調査するよう求めてほしいと要請。県議会内でも金品受領がなかったかを調査し、公表すべきだとした。坂井市議会にも同様の請願を提出した。

また、別の反原発団体「オール福井反原発連絡会」が同時に請願を提出。運転開始から四十年を超えた古い原発の再稼働を認めないよう求めた。

二件の請願は、二十八日開会の定例県議会で採決の可否を判断する。

（尾嶋隆宏）